

学校対応

連携対応

レベル1

連続欠席が2日、または月間の断続的欠席が3～5日、
または月間の断続的な遅刻3回程度

担任による電話連絡を行います

- 欠席理由
- 医療機関への受診の有無について
- 次の登校時の連絡
- などを行います
- ※欠席理由が不明瞭な場合、家庭訪問等で確認することもあります

学級・学年・教科など、校内での情報共通を行います

- ①学級での様子
- ②人間関係
- ③学習状況の確認
- ④部活動などの様子
- ⑤スクリーニングシート

不登校対策委員会で検討

チェック

保健室への来室状況
なども有力な情報になります。

レベル2

連続欠席が3日以上、または月間の断続的欠席が6～9日、
または月間の断続的な遅刻5回以上

担任による家庭訪問等を行います

- 子どもの表情・様子
- 家庭環境
- 子どもの生活リズム
- 保護者の見立て
- 子どもの友人関係
- 登校への意欲レベル
- 子どもと保護者の関係性
- などに注意しながらお子さまの様子を伺います

生徒指導・学年・委員会・SC・SSWとの連携を行います

- ①家庭環境
- ②学校での様子
- ③学習状況
- ④過去の欠席状況
- ⑤支援を要する場合の対応

ケース会議

情報共有した内容は、
学校全体で共有します。

レベル3

長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、
家庭と連絡が取れる状態

① 学校とのつながりを切らない努力をします

- ・電話・タブレットを活用した継続的な連絡、
家庭訪問を実施します
- ・行事への参加の仕方も家庭と相談します

② 保護者、本人の意向の確認

- ・学習の仕方の確認（タブレットの活用等）
- ・SC、SSW等専門家相談へつなぐ
- ・別室対応（校内教育支援ルーム）

個別対応が行えるよう、校内体制の確保を行います

* 学校外の組織との連携 *

①教育支援センター「ルポ」

- ・学校を通さず直接家庭からの申込みできますが、登室状況はセンターと学校で情報共有を行い、子どもの支援を行います
- 枚方市教育文化センター別館 1F (TEL: 050-7102-3154)
- ・登室・訪問指導

②院内学級

③フリースクールなど

④その他必要に応じてつなぐ関係機関

- ・医療・診療内科（発達の問題）・少年サポートセンター（非行）など

レベル4

長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、
家庭と連絡が困難な状態

① SC、SSW等の専門家を交えたケース会議を行い
目的意識を持って組織的に対応します

② 長期的に連絡が取れない場合、学校には公的
関係機関への通知や通告義務があることを
お伝えさせていただきます

* 重大事案を想定した連携する関係機関 *

区分	連携する関係諸機関
就学義務違反	教育委員会
虐待	まるっとこどもセンター
非行	少年サポートセンター・スクールサポーター

レベル5

年間の出席が10日以下かつ、
家庭との連絡が困難な状態

電話連絡や家庭訪問を行う中で、
学校が家庭へアプローチした記録はすべて残します

また、日々の学校対応を記録しています

- ・電話連絡の際、留守番電話にメッセージを残す。
- ・家庭訪問の際、手紙を投函しておく。 など

家庭と連絡が取れない状態、または家庭と連絡が取れても子どもにアプローチができない状態が続く場合には、
子どもの命を守ることを最優先に考える対応を行います

* 重大事案に発展しないための緊急的な連携 *

①長期的に家庭との連携が取れず、「虐待」の疑いがある場合は、
管理職に相談し緊急に関係諸機関と連携します。

→教育委員会へ通告書の写しを提出

→まるっとこどもセンターまたは中央子ども家庭センターに通告・状況に応じて警察に情報提供

②学校対応について保護者から過度な要求がある場合。

→スクールロイヤーに相談します（教育委員会を通して）

不登校児童・生徒の状況は多様であり、本方針とは異なる個別の対応を行うこともあります。